



清流 news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 Tel 042-514-8309
発行日 1月・7月

Vol. 137
発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

環境月間の報告

環境共生部として4度目となる環境月間は「水と緑を引き継ぐまち ひの」をテーマに、広く環境に関する催しを行ってまいりました。

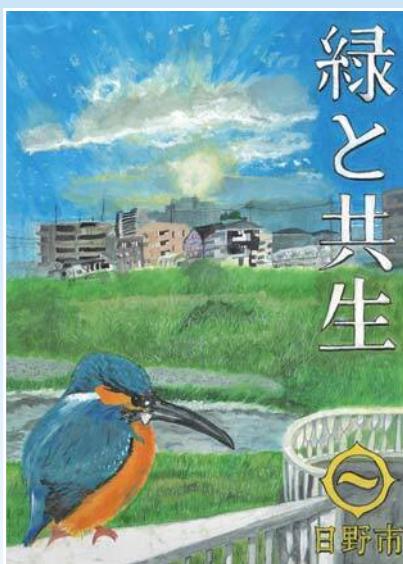
緑と清流課においては、例年に引き続き ①緑と清流ポスターの展示 ②日野用水クリーンデーを実施いたしました。今年度の活動をそれぞれご紹介します。

① 緑と清流ポスターの展示

市内の小・中学校の生徒が「緑と清流」をテーマに描いたポスターを市役所本庁1階に展示しました。

日 程：（小学生の部）10月1日（水）～10月17日（金）
（中学生の部）10月20日（月）～10月29日（水）

小学生の部 最優秀賞



南平小学校 住原 芽生子

中学生の部 最優秀賞



日野第三中学校 阿座上 結衣

※受賞作品は2、3面でも紹介しています。

② 日野用水クリーンデー

市民の方の参加を募り、日野用水の清掃活動をおこなう催しです。今年度は、約15名の市民に参加していただきました。
ご協力ありがとうございました。

日 程：10月29日（水）



その他の催し

夏休みごみ探検隊（施設課）

7月23日（水）～7月25日（金）

クリーンセンター環境展（ごみゼロ推進課）

10月1日（水）～10月30日（木）

ごみ減量ポスター展（施設課）

10月31日（金）～11月12日（水）

スター

日野市環境月間の行事として、市内の小・中学校の子どもたちへ緑と清流に関するポスターを募集しました。令和7年度も694点の応募があり、その中から選ばれた作品です。身のまわりの水辺や緑へ対する子どもたちの思いが描かれています。

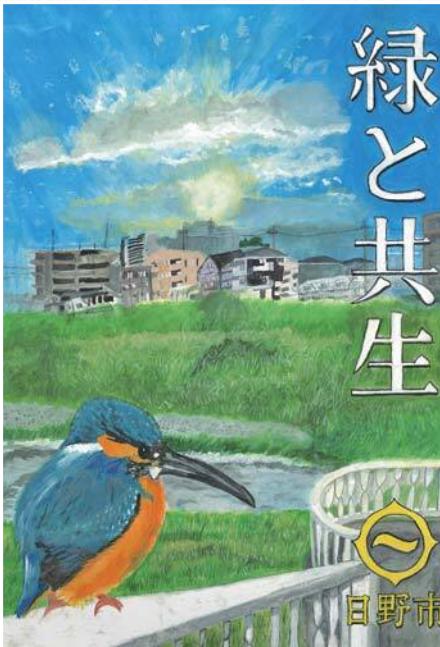
小学生の部

平山小学校 3年 渡邊 更



優秀賞

南平小学校 5年 住原 芽生子



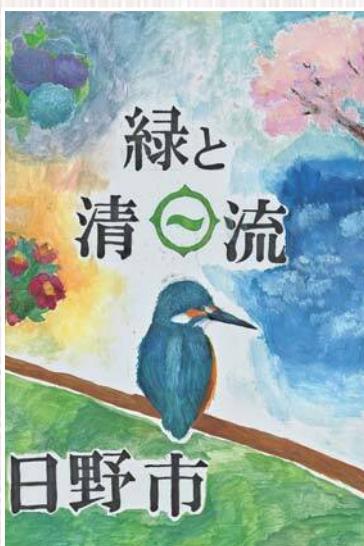
最優秀賞

日野第八小学校 6年 宮本 多笑



優秀賞

南平小学校 5年 宮原 佑衣



佳作

仲田小学校 5年 竹内 優



令和7年度

緑と清流术

最優秀賞



日野第三中学校 3年 阿座上 結衣

中学生の部

優秀賞



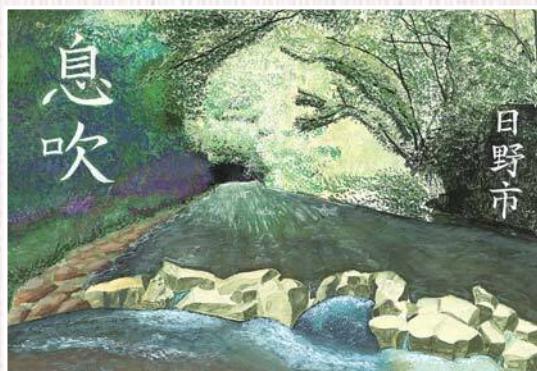
三沢中学校 2年 岩下 晴

優秀賞

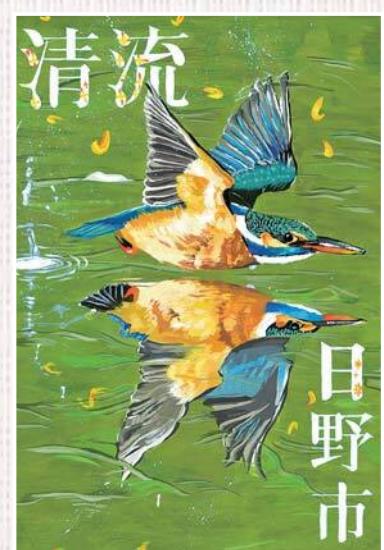


日野第四中学校 2年 入岡 ここる

佳作



日野第四中学校 2年 岡本 有生



日野第三中学校 3年 長川 紗季

佳作

一 ル ～しぜん・ひと・まち～

あさかわ写真コンクールは、日野市と八王子市の両市を流れる浅川を、源流から多摩川の合流点までひとつつの流域として捉え、良好な水辺環境と心豊かな浅川流域のまちづくりを目指すため、浅川流域連携事業のひとつとして行っている催しです。

今年で14回目を迎えたあさかわ写真コンクールですが、今年は291点の応募があり、それぞれに撮影者の浅川に対する思いを感じることができました。審査の結果8作品を入選作品としました。各作品への想い、撮影時期、撮影場所はホームページで公開しております。

また、日野市では以下の日程で入選作品の展示を行う予定です。機会がありましたらお立ち寄りください。

※八王子市での展示については八王子市ホームページをご確認ください。

〈入選作品展示予定〉

・令和8年(2026年)1月14日(水曜日)～1月28日(水曜日)
 平山季重ふれあい館1階 平山図書館

・令和8年(2026年)2月2日(月曜日)～2月15日(日曜日)
 イオンモール多摩平の森3階 プティマイン前



優秀賞



『はじまり』

小島 正司

最優秀賞



『浅川は未来の手の中に』

宮崎 麻衣子

京王電鉄賞



『ともに終点へ』

中嶋 隆久

コニカミノルタ賞



『夕暮れを泳ぐ』

佐々木 陽介

第14回 あさかわ写真コンク

●作品応募期間 令和7年(2025年)6月15日～8月15日

●応募作品数 計 291作品

コニカミノルタ賞

中嶋 隆久 ともに終点へ

京王電鉄賞

佐々木陽介 夕暮れを泳ぐ

最優秀賞

宮崎麻衣子 浅川は未来の手の中に

優秀賞

小島 正司 はじまり

佳 作

馬込 康子 浅川ふれあい橋とダイヤモンド富士

佐々木結衣 秋の入口

有賀雄一郎 ダイヤの軌跡

岸田 隆雄 春うらら卒業前の北浅川の土手

あさかわ写真コンクール結果

<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/kankyo/mizumidori/asakawa/index.html>



佳 作



『浅川ふれあい橋とダイヤモンド富士』 馬込 康子

佳 作



『秋の入口』

佐々木 結衣

佳 作



『ダイヤの軌跡』

有賀 雄一郎

佳 作



『春うらら卒業前の北浅川の土手』 岸田 隆雄



日野市では10月下旬から11月中旬にかけて、菊花展、菊花コンテストなど、菊にまつわる祭典が開催されました。今年も猛暑の影響で非常に厳しい育成環境でしたが、携わる方々の長年の経験による栽培の工夫や、

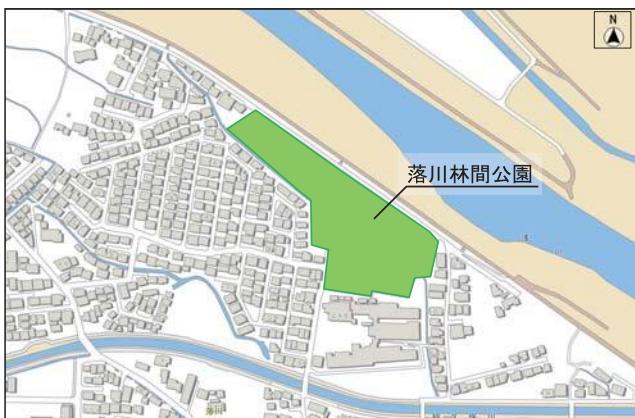


丹精込めた土・肥料づくりの成果で、開催期間には一斉に見頃を迎えるました。日野中央公園のステージを中心に入形など、多くの作品を展示することができました。

また、高幡不動尊では、多摩地域最大の規模である「菊まつり」が今年も開催

され、多くの菊花で境内が埋め尽くされ、沢山の方の目を楽しませていました。写真は日野中央公園のス

テージ上の作品になります。



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。



●落川林間公園（街区公園207）

所在地・落川229他／開園日…
令和4年4月1日

この場所は大字落川字二十一号（上川原）で、もとは千代田区七生自然学園として千代田区の校外活動の場として使われていました。その後、自然学園が廃止された後に、

建物は落川交渉センターとして、ニスコートとし、七生自然学園テニスコートとして活用されています。

「マシイ」は坪井・樹井・増井等の表記が混在するため、公園名としてはカタカナ表記としました。

●マシイ坂公園（街区公園208）

所在地・百草877-9／開園日…
令和4年5月1日

この公園の前の坂を下った突き当たりから百草八幡神社へ登る坂は古来よりマシイ坂と呼ばれていました。現百草園の位置に存在していた松連寺や、八幡の山号「樹井山」の関連だと思われますが、「マ

シイ」は当時付近にあった年間通して枯れることのない湧水を指している可能性があります。

百草一帯は鎌倉～室町期には、吉富郷として、関戸郷（現多摩市）と共に鶴岡八幡宮の所領で、百草八幡神社へ奉納するための祭田や修復作業場があつたと云われています。

1062年源頼義・義家父子が「前九年の役」で奥州下向の折にマシイ坂を通り、百草八幡神社に詣でたと伝わっています。



秋の市内一斉清掃

市では、「日野市みんなでまちをきれいにする条例」に基づき、毎年5月（春）と11月（秋）の最終日曜日を「市内をみんなできれいにする日」としています。

市内一斉清掃は自治会、学生ボランティア等、様々な団体の方々にご協力をいただき、実施しています。

当日は朝早くから、きれいなまちを維持しようと、積極的に清掃を行っていただきました。

また、今回は日野第五小学校の児童の皆さんが多く平第公園を自治会の方々と一緒に清掃活動を行われました。

今後も、市内の良好な環境保全にご協力をお願いします。

次回は、令和8年5月31日（日）春の市内一斉清掃を予定しています。

【環境政策課】

参加団体（組）	343	
参加人数（人）	約17,400	
収集量 (kg)	可燃	28,860
	不燃	480



水辺のある風景 日野50選 選ばれた水辺を紹介します

一旧一ノ宮用水取水口

前号で取り上げた「日野用水改修記念碑」は日野市域の北西、八王子市との境にあります。

今回はそこから多摩川を下り、浅川との合流地点近くに残されている「油免（あぶらめん）の堰」を紹介します。

多摩川と浅川の合流点付近

は氾濫が多く、耕作地として適さなかつたので、年貢米が免除され、代わりに油菜を栽培し、燈明の油を上納したことから油免の地名となつた、との説が伝わっています。

京王百草園駅から北へ進むと、程久保川に架かる「浅川橋」に突き当たります。川はそこから200mほど下流で多摩川と合流しています。川に沿った八重桜は名所、4月中旬が見頃です。さらに下流の「玉

川橋」からキックボクシングジムの裏手に回ると、朽ち果てた4つの水門が見えてきます。これが、「油免の堰」です。

「油免の堰」は旧程久保川の裏手に位置する「油免の堰」は、現在の多摩市一ノ宮地区の水田へ引く一ノ宮用水の起点であり、ここから取水されていました。

昭和40～50年代にかけて程

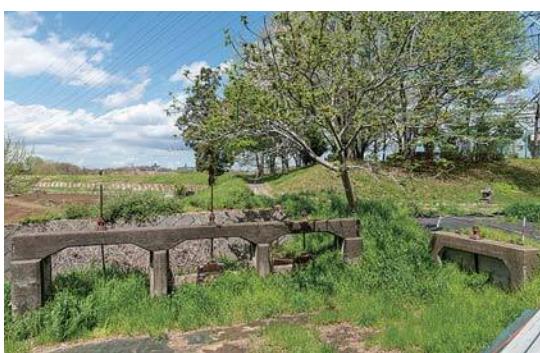
久保川は流域の宅地開発により、大規模河川改修事業が行われています。現在も旧流路が残る場所もあり、堰に向かって左手には旧程久保川跡が見えています。正面の3基の水門は、多摩川への出水を調整し、右にある小さな水門が一

たであります。今は程久保川跡が残る場所もあり、堰に向かって左手には旧程久保川跡が見えています。正面の3基の水門は、多摩川への出水を調整し、右にある小さな水門が一

たであろう用水の流路を追うと、対岸の川底に現在の取水口がみえます。ここから水は現在、多摩市が設置したポンプ場で汲み上げられ昔からの場所で流れています。

「油免の堰」は旧程久保川の裏手に位置していたために撤去されずに、往時の姿を留めています。今はそのこ

とにより、地域の時代変容を教えてくれる、いわば地域の産業文化遺産としての役割を担いつつあります。



右側の一門が一ノ宮用水の取り入れ口

絶滅危惧種のリストは「レッドリスト」と呼ばれます。それに対して侵略的外来種のリストを「ブルーリスト」とも呼びます。生物多様性を保全するためには、外来種の対策が欠かせません。特に、生態系や人間生活にも大きな被害や影響を与える外来種は「侵略的外来種」と呼ばれ、その対策が急務となっています。国レベルでの外来種対策のリストとしては生態系被害防止外来種リストがありますが、外来種の問題は地域によって状況が異なるため、それぞ

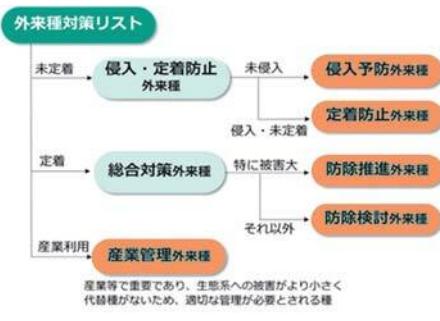
● レッドリストと ブルーリスト

2025年9月に、都内の生態系などに大きな影響を与える恐れのある侵略的外来種をまとめた「東京都外来種対策リスト2025」が公表されました。



東京都外来種対策 リストについて

の地域の実情に即したりストラテジックな観点から、この度東京都でも初めて策定されました。さらに、国内の他の地域だけでなく、外国からの外来種「ブルーリスト」の影響も深刻です。そのため近年各地の自治体でブルーリストの策定が進んでおり、この度東京都でも初めて策定されました。



●**外来種をカテゴリ分け**

本リストには全614種（本土部466種、伊豆諸島389種）が掲載されています。さらに対策の優先度を決めるため、それの種を都内への侵入・定着段階や被害の大きさなどにより、「侵入予防外来種」、「定着防止外来種」、「防除推進外来種」、「防除検討外来種」にカテゴリ分けしています。例えば、

●外来種をカテゴリー分け

特定外来生物のアライグマや市内の水辺に大量に生息する中国原産のシナヌマエビ、昨年市内の田んぼで発見された西日本からの国内外来種であるヌマガエル、鋭いトゲが厄介なアメリカオニアザミは「防除推進外来種」に、有毒のヒアリやアカ力ミアリは「定着防止外来種」に指定されています。



ヌマガエル



ヌマガエル

TOKYO 外来種
対策 3 & 3

外来種の問題は、生態系への被害だけでなく、感染症の持ち込みや有毒生物による被害、農作物の食害など人間生活にも大きな影響を与えます。すでに広まってしまった外来種への対策に加え、さらなる侵入や拡大を防ぐために、東京都はこれまで提唱されてきた「外来種被害予防3原則」に加え、新たに「外来種対策行動3原則」を設け、二つを合わせた6つの原則を東京都の外来種対策の行動原理とすることとしました。外来種の侵入をいちはやく見つけて拡散を防ぎ、地域の実情に合わ



TOKYO外来種対策都3&3（都HPより）

せた対策を行って被害を減らし、外来種対策に取組む人々の輪を広げていくことが大切になってきます。そのためには、市民の皆さんのご協力が欠かせません。同時に公開された「東京都外来種対策行動の手引き」には、外来種問題についてイラストや図表を交えて詳しく紹介されています。東京都のHPから、ぜひご覧になつてみてください。

説題はありますか、皆様が安
心して暮らせるまち、また水
辺のある風景を大事にしてい
きながら水環境保全に努めて
参ります。今後ともに、皆様
のご理解、ご協力お願い申し
上げます。

あ
と
が
き